

U021-02

会場:304

時間:5月24日 08:55-09:20

リスク・クライシス管理としての災害科学情報 Information from Disaster Sciences as Risk and Crisis Management

大木 聖子^{1*}, 嶺 纈 一起¹, 泊 次郎¹, 桑原 央治¹
Satoko Oki^{1*}, Kazuki Koketsu¹, Jiro Tomari¹, Eiji Kuwabara¹

¹ 東京大学地震研究所

¹ ERI, Univ. of Tokyo

2009年4月6日のラクイラ地震発生に至る約半年間、通常は月に数回程度の地震活動である同地域において地震活動が活発化し、ついには非専門家による予知情報が出て住民を混乱させた。3月30日、地震活動のさらなる活発化を受けて、イタリア政府は諮問委員会である Commissione Grande Rischio (大災害委員会) を開催した。委員会後の記者会見を経て現地の報道は、委員会に出席したメンバーが事実上の安全情報を出したと伝えた。その6日後に Mw6.3 (USGSによる) の地震が発生、309名の方が亡くなられた。専門家による安全情報が被害を拡大させたという遺族らの申し立てから、2010年6月3日、イタリア検察局は大災害委員会に関係した専門家を含む、7名の捜査へと踏み切ったことを発表した。ANSA通信によると、捜査理由は「小さな地震がすでに起きていたのだから、今回のケースは全く何の前触れもなかったというわけではない。しかしながら我々が彼らから受けた情報は、避難する必要はないというものだった」とある。

6月3日の捜査当局の動きは ANSA 通信により英語で発信され、日本時間の4日には共同通信社が、5日には朝日新聞社が報道した。しかし本件が国内外のコミュニティに大きく知れ渡ったのは、6月14日(イタリア時間)のイタリア人研究者らによるウェブ署名活動によるところが大きい。"Open letter to the President of the Republic of Italy" (以下、Open Letter) と題されたイタリア大統領への公開書簡は、所員が捜査を受けることとなった INGV (イタリア国立地球物理学火山学研究所) の研究者によって書かれている。「2週間前、イタリア・ラクイラ検察当局は大災害委員会のメンバーである科学者ら(中略)を過失致死罪で起訴した。起訴の根拠となったのは Mw6.3 の地震の6日前に開かれた会議の後、彼らが市民に短期的警報を出さなかったというものである」と始まるこの Open Letter には2週間足らずで5000名を超える世界各国の研究者が署名をした。国内の様々なメーリングリストによって署名運動が広がったほか、日本地震学会は、6月18日午前9時40分に会長名で全学会員へ宛てて署名を呼び掛けるメールを配信した。発表者はその30分後に、ANSA通信による情報と Open Letter に書かれた内容との相違点を指摘し、地震学会代議員メーリングリスト等へ同紙の和訳を配信すると共に、災害科学におけるリスクおよびクライシス・コミュニケーションの重要性を伝えた。7月27日、地震学会から声明文案へのコメント依頼が全学会員へ流れたため、1) 科学が提供する助言であっても不確実性が含まれることを理解してもらうこと、2) 声明文の送付以上に重要なのは地震学会が本件から何を学んだかを学会員に示すこと、の2点に絞って提案し、両案に関するより具体的な考察と過去の事例、それによる結論などを約50スライドのパワーポイント資料として送付した。これらは2010年度地震学会秋季大会にて発表された。

この訴追事件の当事者は、被災住民・研究者・行政当局であることから、本件には少なくとも3つの視点が存在する。研究者による情報発信を考える上では、情報の受け手である被災住民と行政当局の、本件への見解を知ることが有用である。本発表では、当事者への現地でのインタビューを踏まえながら、低頻度大災害の情報の伝え方をさらに整理するとともに、科学として未解明な現象について専門家が決断を迫られた際に注意すべきことを発表する。また、社会全体のシステムをより良いものとするためには、災害科学分野においては平時からどのようなアウトリーチ活動があるべきなのか、どのようなアウトリーチ活動はすべきでないのかを、発表者の経験と社会調査に基づいて報告する。

キーワード: 災害情報, リスク管理, クライシス管理, 地震予知, アウトリーチ, コミュニケーション

Keywords: disaster information, risk management, crisis management, earthquake prediction, outreach, communication